

平成27年度合同知的財産部会活動報告

I. 第26回国際文具・紙製品展（ISOT2015）における模倣品対策活動

会期 平成27年7月8日(水)～10日(金)

会場 東京ビッグサイト 東ホール

(1) ISOT会場内における模倣品実態調査

実施日時：平成27年7月8日(水) 午前10時30分～午後2時

実施場所：東京ビッグサイト東展示ホール

調査対象：ISOT2015の全出展ブース

委員控室：東1ホール2階 商談室（4）

参加人員：25名（委員21名、黒川朋也弁理士・リード社 柳内愛氏・事務局2名）

調査結果：以下の模倣品を発見し対応した。

商品名等	企業名	権利侵害	相手企業(ブース)	対応
ペンケース	L社	特許権1件	中国(A9-33)	侵害確認同意書署名・商品撤去
		意匠権1件		

(2) 知的財産権特別セミナー

開催日時：平成27年7月9日(木) 午後2時～4時30分

開催場所：東京ビッグサイト 会議棟1階 101会議室

テーマ及び講師：

- ・第1部 テーマ「日本政府の模倣品・海賊版対策の現状」
講師 経済産業省 模倣品対策室 室長補佐 野田 佳伸 氏
- ・第2部 テーマ「JETROにおける中小企業等の模倣品対策支援」
講師 独立行政法人日本貿易振興機構 知的財産課 課長代理 松原 敬祐 氏
- ・第3部 テーマ「中国における文具の模倣品の現状と効果的対策の提案」
講師 QCAC 駿麒国際諮詢有限公司 国際事業部 マネージャー 安達 孝裕 氏

参加者：90名（会員47、会員外24、報道9、関係者7、事務局3）

《セミナー風景1》

《セミナー風景2》

《セミナー風景3》



《模倣品対策室 野田室長補佐》

《JETRO 松原課長補佐》

《QCAC 安達マネージャー》



(3) 真正品・模倣品比較展示ブース設営

設営日時：平成27年7月8日(水)～10日(金) 午前10時～午後6時（最終日は午後5時迄）

設営場所：東5ホール 小間番号《A13-29》

展示内容：①真正品・模倣品比較展示 10社23製品（新規展示4製品）

②特許庁・東京税関の模倣品撲滅キャンペーンポスター5枚パネル展示

③日本貿易振興機構（JETRO）知的財産課の協力展示

展示協力：キングジム・シヤチハタ・ゼブラ・トンボ鉛筆・パイロットコーポレーション・プラス・
ぺんてる・マックス・三菱鉛筆・ヤマト

展示製品：ボールペン(7)・修正テープ付ボールペン(1)・マーキングペン(5)・

シャープペンシル(1)・シャープ替え芯(1)・スタンプインキ(2)・

スタンプ台(1)・カラーホルダー(1)・ホッチキス(1)・ホッチキス針(1)・

液状のり(1)・ハサミ(1)

《真正品・模倣品比較展示ブース》



(4) 知的財産権に関するパンフレット配布による啓蒙活動

関係機関の協力により、知的財産権特別セミナー会場及び真正品・模倣品比較展示ブースにおいて、模倣品対策等に関するパンフレット計2,700部を配布し知的財産権擁護等に関する啓蒙を行った。

- ・特許庁（3種各400部）・JETRO（1種400部）・東京税関（1種100部）
- ・東京都知的財産権総合センター（2種各400部）・発明推進協会（1種200部）

(5) 知的財産権交流会を開催

開催日時：平成27年7月9日(木) 午後5時30分～8時

開催場所：東京ビッグサイト内 カフェテリア晴海ヴォワール

参加人員：21名（経産省模倣品対策室、特許庁、JETRO、QCAC、委員他）

参考1：ISOT2015の来場者数（主催者発表）

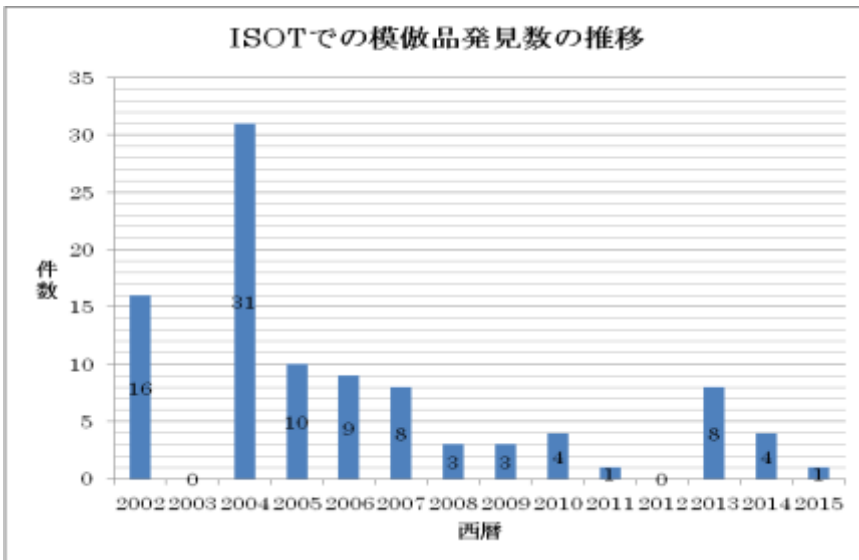
	7月8日(水)	7月9日(木)	7月10日(金)	3日間合計
ISOT来場者数	19,552名	18,448名	17,624名	55,624名
報道関係来場者数	177名	82名	90名	349名

参考2：知的財産権特別セミナーに関する業界専門紙の報道6紙

- ・日本文具新聞・月刊文具・週刊ビューロー・旬刊ステイショナー・月刊事務用品
- ・ぶんど事務機ガイド

参考3：ISOT2016は、平成28年7月6日(水)～8日(金)の開催。

参考4：模倣品発見数のデータ





II. 2015年度 中国での展示会における模倣品実態調査 (JETRO支援)

◇対象展示会：2015年中国国際文具及办公用品展览会 (Paper world China 2015)

会 期：2015年10月15日～17日 (3日間)

場 所：上海新国際博覧中心 N1号、N2号

展示会敷地面積：約25,000㎡

展示品種類：N1館 (オフィス用品、オフィスシステム、事務機及び消耗品、学校用品、絵画美術用品、文具、工芸品等)

N2館 (手作り製品特別展、東方文化元素国際特別展)

展示会主催者：法蘭福展覽有限公司/中国轻工工艺品进出口商会/

広州外貿華南展覽有限公司

出展者数：160社程度 (うち調査対象となった出展者は25社)

2014年の出展者数は501社との報告。今回の報告書でも「ほとんどの出展者は国内で知名度が低い業者であり、国際ブランドの商品は見当たらなかった。」とあり、出展規模が大幅に縮小したと受け取れる。

来場者数：約25,000名 (N1館の来場者は、ほとんどが中国人)

知的財産権への対応：「知的財産権事務室」が設置されたが、常駐者なし。

◇調査参加会員企業及び調査権利数

参加企業：4社 (トンボ鉛筆、ぺんてる、三菱鉛筆、ヤマト)

権利内訳：11件 (商標権7件、意匠権4件)

◇調査会社：上海擁智商務諮詢有限公司 (IP FORWARD China)

◇調査結果：参加企業のうち1社の模倣品と疑わしき製品7件を発見。

品目	意匠専利権侵害嫌疑	商標権侵害嫌疑	発明専利権侵害嫌疑
蛍光マーカー	1件	—	—

◇対応：参加各社の判断による。

《Paperworld China 会場風景》



Ⅲ. 関係省庁・関係公的機関との交流と情報交換

(1) IIPPF 第3プロジェクト情報交換会への参加

- ◇第1回 日時：平成27年7月2日(木)15時～ 場所：JETRO会議室
- ◇第2回 日時：平成27年9月1日(火)15時～ 場所：JETRO会議室
- ◇第3回 日時：平成27年11月9日(月)15時～ 場所：JETRO会議室

(2) 知的財産権 3 団体交流会

平成 27 年度には開催しない。前回開催（平成 27 年 2 月）との期間が短いため。

IV. 中国冒認意匠登録のウォッチング

日本アイアール社から配信される中国意匠公報を 6 社・2 団体の共同により購読している。全文協では平成 27 年より情報を保管している。

当該公報からの情報に基づいた模倣品対策等の企業間連携については、参加企業が個々に対応することになっている。

V. 講習会・説明会

(1) マドリッド制度講習会

日 時：平成 28 年 3 月 24 日(水)午後 3 時～5 時

場 所：東京文具工業健保会館 5 階ホール

講 師：世界知的所有権機関（WIPO）日本事務所 吉岡 めぐみ 氏

テーマ：マドリッド制度の概要／Global Brand Database の活用

参加者：35 名

VI. 会議

(1) 合同知的財産部会

◇第1回合同知的財産部会

日時：平成27年4月15日(水)16時～17時

場所：東京文具工業健保会館5階ホール

◇第2回合同知的財産部会

日時：平成27年7月8日(水)10時30分～14時

場所：東京ビッグサイト 商談室(4)

(2) 知財リーダー会議

◇第 1 回 日時：平成27年6月16日(火)15時～17時 場所：全文協会議室

◇第 2 回 日時：平成27年12月4日(金)15時～17時 場所：全文協会議室

以上